

公益社団法人私立大学情報教育協会
2020年度第4回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

I. 日 時：令和2年7月17日（金） 17：00～19：00

II. 場 所：Zoom ネット会議室

III. 参加者：斎藤委員長、笈委員、大原アドバイザー、玉田主査、児島主査、金子委員、中西委員、
角田委員、石川委員、渡辺アドバイザー、小野アドバイザー、光井アドバイザー
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

ビデオガイドについて、各委員が作成したコンテンツを確認し、以下のような意見があった。

1. 初年次向け反転授業によるビデオ授業ガイド・ビデオ教材の例示

(1) 社会で求められる情報活用能力育成ガイドラインの背景・概要、教育改善の目的

- ・ ハード制御の位置づけから、ソフト自体の価値を向上させることが必要ではないか。
- ・ 会計ソフトの例を一番にあげていたが、日本の会計業界側の問題もあることから、ソフト（データの取扱い）だけの競争力とも言えない可能性もあり、説明に工夫が必要ではないか。
- ・ 目指すべき人材や教育では、新しい価値を創造する教育を強調してはどうか。
- ・ 日本の競争力や要因の説明部分はもう少しボリュームを落としてはどうか。
- ・ 分野横断型 PBL 授業モデルの図は、参加者の理解が進まない可能性があり、ここに議論の焦点が当たっても困ることから、提示しない方が良いのではないか。
- ・ 授業を振り返り、分野連携・協働した学びが必要とされるのではないか。
- ・ 意識変革の必要性を中心に説明してはどうか。
- ・ 2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）では、普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身に付けていくこと、個々の教員の教育手法や研究を中心にシステムを構築する教育からの脱却など、教員が連携して取組み、学生本位の教育環境を大学は構築する必要がある。
- ・ 自前主義からの脱却という意識の改革を目指す必要があり、ネットを通じた連携が求められる。
- ・ タイトルは、ガイドラインの枠を超えた意識改革を意図することから「社会で求められる情報活用能力育成の背景」とすることにした。

(2) 初年次向け、問題発見・解決思考の反転授業シナリオ作り（解説）

- ・ 短時間で問題解決を学ぶためのテーマとしては、身近な問題を取扱っているが、現状ではコロナ問題を含めても良いのではないか。
- ・ ガイドラインの掲載は、後のスライドで問題発見・解決思考の枠組みの図が提示されることから、文字の説明部分を中心に掲載してはどうか。
- ・ ビデオ教材例は、参考程度の位置づけにしているが、工夫した点などを吹き出しのような形式でポイントを説明してはどうか。
- ・ 解説ビデオは、基本、このままの形で進め、意見を参考に更新することにした。

(3) 初年次向け、AI理解教育の反転授業シナリオ作り（解説）

- ・ 分野横断型 PBL 方式での教育が望ましいが、全ての大学ができるわけではないことから、IoT（仮想）空間を活用した取組みとしてはどうか。
- ・ 教育の中で、データの取扱いについても含めてはどうか。
- ・ シナリオの中で、参考となるビデオなど視聴可能なものがあれば、追記できないか。

2. 専門科目と連携した情報活用教育のビデオ運営ガイドの例示

(1) 文系（経済学分野）

- ・ 情報関連の授業時間の減少と記述しているところは、情報関連授業時間が十分に確保できない現状があり、専門科目の中で情報活用教育の育成が求められていることの補足がされた。
- ・ 情報科目での情報活用として、前回の指摘事項を含めて整理をしているが、作成したシナリオの中で、具体的にどのような工夫をいれているのか、授業設計のポイントを分かりやすい形で説明できないか。医療系コンテンツを参考に検討することにした。

(2) 理工系（機械工学分野）、医療系（医学分野）

- ・ 修正すべき指摘はなく、このままコンテンツの作成を進めることにした。

(3) 家政系（被服学分野）

- ・ 授業の流れ・方法までのまとめ（進捗）のため、授業設計のポイントなどまで到達できていないことから、次回ビデオを確認して検討する予定にした。

3. その他、確認・検討事項

- ・ ビデオコンテンツの作りについて、基本は、スライド画面に説明音声を組合せた動画とするが、問題発見・解決思考の反転授業シナリオ作り解説ビデオは、ガイドラインのメイン説明になることから、リテラシー分科会主査の顔を表示させ、情報共有・意見交換を含めて促進を図ることにした。
- ・ 情報提供と意見交流の場の議題は、時間の関係で次回検討することにした。

V. 今後のスケジュール

今回でコンテンツの完成に至らなかったため、今回は、7月31日(金)18:30から合同会議を開催し、継続して解説ビデオの確認を進める予定にしている。